

平成 3 年 3 月 招 集
平成 3 年 5 月 招 集

第 1 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録
第 1 回 館 山 市 議 会 臨 時 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

第 1 回 定 例 会

◎第1号（3月1日）

開 会	3
議長の報告	3
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	4
会期の決定	4
会議日程の決定	4
議案第1号～議案第22号（施政方針並びに提案理由の説明）	5
延 会	17
本日の会議に付した事件	18

◎第2号（3月7日）

開 議	20
議長の報告	20
行政一般通告質問	20
脇田 安保君の質問、当局の応答	20
永井 龍平君の質問、当局の応答	38
神田 守隆君の質問、当局の応答	47
日下 君敏君の質問、当局の応答	66
田沢 勝信君の質問、当局の応答	84
会議日程の変更	98
散 会	98
本日の会議に付した事件	99

◎第3号（3月11日）

開 議	103
-----------	-----

議案第 8 号	1 0 3
委員会付託の省略	1 0 3
採決	1 0 4
議案第 9 号～議案第 1 9 号	1 0 4
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 0 4
委員会付託	1 0 7
議案第 2 0 号～議案第 2 2 号	1 0 8
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 0 8
委員会付託	1 1 4
請願第 3 2 号	1 1 4
委員会付託	1 1 4
議長の報告	1 1 4
延 会	1 1 5
本日の会議に付した事件	1 1 5

◎第 4 号（3 月 1 2 日）

開 議	1 1 8
議案第 1 号～議案第 7 号	1 1 8
神田 守隆君の質疑、当局の応答	1 1 8
山中金治郎君の質疑、当局の応答	1 3 1
予算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	1 3 3
延 会	1 3 4
本日の会議に付した事件	1 3 4

◎第 5 号（3 月 2 2 日）

開 議	1 3 7
議案の配付	1 3 7
議案第 9 号～議案第 1 4 号、議案第 2 0 号	1 3 7
総務委員会委員長報告	1 3 7

採決	140
議案第15号～議案第17号、議案第21号、議案第22号	141
文教民生委員会委員長報告	141
採決	143
議案第18号、議案第19号	143
建設経済委員会委員長報告	143
採決	145
継続審査について（請願第28号、請願第32号）	146
議長の報告	146
議案第1号～議案第7号	146
予算審査特別委員会委員長報告	146
神田 守隆君の討論	152
日下 君敏君の討論	153
採決	154
議案第23号	155
説明	156
委員会付託の省略	156
採決	157
日程追加・発議案第1号	157
説明	158
委員会付託の省略	158
採決	159
閉 会	159
本日の会議に付した事件	159

第 1 回 臨 時 会

（5月13日）

臨時議長の紹介	162
---------------	-----

飯田義男君のあいさつ	1 6 2
開　　　　会	1 6 2
仮議席の指定	1 6 3
市長のあいさつ	1 6 3
議長の選挙	1 6 4
議長のあいさつ	1 6 5
議長の報告	1 6 6
議席の指定	1 6 7
会議録署名議員の指名	1 6 7
会期の決定	1 6 8
副議長の選挙	1 6 8
副議長のあいさつ	1 6 9
安房郡市広域市町村圏事務組合議会議員選挙	1 6 9
千葉県競輪組合議会議員選挙	1 7 0
安房南部伝染病隔離病舎組合議会議員選挙	1 7 1
三芳水道企業団議会議員選挙	1 7 2
館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員選挙	1 7 3
常任委員会委員の選任	1 7 4
議案第 2 4 号	1 7 5
説明	1 7 6
委員会付託の省略	1 7 6
採決	1 7 7
議案第 2 5 号	1 7 7
説明	1 7 7
辻田　実君の質疑、当局の応答	1 7 8
委員会付託の省略	1 8 3
採決	1 8 3
閉　　　　会	1 8 3
本日の会議に付した事件	1 8 3

第 1 回館山市議会定例会会議録

(第 1 号)

1 平成3年3月1日(金曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 脇田 安保	2 番 永井 龍平
3 番 田沢 勝信	4 番 庄司二三男
5 番 岩村 勝弘	6 番 山崎 雅己
7 番 生稻 隆	8 番 鈴木 勝美
9 番 山口 康雄	10 番 鈴木 忠夫
11 番 神田 守隆	12 番 榎本 春光
13 番 山中金治郎	14 番 小宮 利夫
15 番 横溝 功	16 番 石井 昌治
17 番 石井 謀	18 番 日下 君敏
19 番 川名 正二	20 番 福原 勤
22 番 黒川 平治	23 番 流山源次郎
25 番 渡辺 昭夫	26 番 近藤 好雄
27 番 林 豊	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収 入 役 渡辺 弘	市長公室長 錦織 茂
総 務 部 長 二通 英雄	民 生 部 長 佐藤 澄雄
経 済 部 長 安西 良一	水 道 課 長 鈴木 信一
教 育 委 員 会 長 山田 教和	教 育 委 員 会 長 福原 修
選 挙 管 理 委 員 会 長 加藤 利	選 挙 管 理 委 員 会 長 庄司 徹
監 査 委 員 鈴木 重司	監 査 事 務 局 長 熊坂 桂一
農 業 委 員 会 長 斎藤 明	農 業 委 員 会 長 岩城 昭

1 出席事務局職員

事務局 長 川上 義雄

事務局 長 補 佐 兵藤 恭一

書 記 鈴木 哲

書 記 鈴木 修一

書 記 加藤 浩一

1 議事日程（第1号）

平成3年3月1日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

議案第 1号 平成3年度館山市一般会計予算

議案第 2号 平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算

議案第 3号 平成3年度館山市老人保健特別会計予算

議案第 4号 平成3年度館山市ユースホステル特別会計予算

議案第 5号 平成3年度館山市学童災害共済事業特別会計予算

議案第 6号 平成3年度館山市水道事業特別会計予算

議案第 7号 平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算

議案第 8号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第4号）
の専決処分の承認について

議案第 9号 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

議案第10号 非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償
に関する条例の一部を改正する条例の制定について

日程第4 議案第11号 館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

議案第12号 館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する
条例の一部を改正する条例の制定について

議案第13号 館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正
する条例の制定について

議案第14号 財産の無償譲渡について

議案第15号 館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第16号 館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第17号 館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

議案第18号 館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第19号 市道路線の認定、廃止及び変更について

議案第20号 平成2年度館山市一般会計補正予算（第5号）

議案第21号 平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

議案第22号 平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）

開 会 午前10時03分

◎議長（渡辺昭夫君） 本日の出席議員数26名、これより平成3年第1回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（渡辺昭夫君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から定期監査並びに平成2年12月及び平成3年1月実施の監査結果が報告されております。お手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（渡辺昭夫君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

8番議員鈴木勝美君、19番議員川名正二君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき議会運営協議会の意見は本3月1日から3月22日までの22日間ということであります。

お諮りいたします。会期を22日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、会期は3月1日から3月22日までの22日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加または議事の都合等によりまして、その都度これを改めることにして、大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（渡辺昭夫君） 日程第4、議案第1号乃至議案第22号の各議案を一括して議題といたします。

施政方針並びに提案理由の説明

◎議長（渡辺昭夫君） これより平成3年度施政方針並びに各議案に対する提案理由の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日、ここに3月定例市議会を招集し、平成3年度一般会計及び特別会計の予算案並びに諸議案等につきまして御審議をお願い申し上げますが、開会に当たり新年度の市政運営に関する所信を申し述べ、議員各位の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

最近の我が国経済は、内需主導型の拡大局面にあるものの、国際協調型経済構造への変革の推進、自由貿易体制の維持、強化等を通じた調和ある対外経済関係の形成及び世界経済活性化への貢献が求められるなど国際社会における日本の役割はさらに増大しているところであります。

また、国の財政は特例公債に依存する体質から脱却したものの多額の公債残高を抱えており、一方、地方においても同様に、累積した借入金の償還が将来に大きな負担を残す等依然として厳しい状況にあり、このため今後も徹底した行財政改革を推進し、財政構造の健全化を図ることが求められているところでございます。

こうした中で、本市を取り巻く状況は、東京湾横断道路及び東関東自動車道館山線の建設等、広域幹線道路網の整備、あるいは南房総広域水道企業団による用水供給事業の推進、総合保養地域整備法に基づく民間計画の推進など国・県等のビッグプロジェクトが着実な進展をみせており、市制施行後、半世紀を超えた今、本市は大きな飛躍への転換期を迎えております。

平成3年度は21世紀を展望した館山市基本構想に基づく、将来都市像であ

る「活力ある文化福祉都市」を実現するための第2期目の基本計画がスタートする重要な年でございます。

私は、新5カ年計画では「海洋性リゾートタウンのまちづくり」を柱とし、市民が館山に生まれ育ったことへの誇りを持ち、これからも住み続けたいと思えるまちづくりを推進するため、市民の英知と意欲と行動力を結集し、市民と行政の協働によって、まちづくりを一步一步着実に進めてまいる所存でございます。

このため、新5カ年計画のサブタイトルを「新たな飛躍と調和をめざして」と定め、市勢の更なる発展と調和のとれたまちづくりを推進し、海洋性リゾートタウンの実現を目指し、道路交通網、館山駅周辺市街地、上水道並びに公共下水道事業など都市基盤の整備、農水産業等の既存産業の振興、インダストリアルパーク計画及びウエルネスリゾートパーク計画の実現化、さらに、保健、医療、福祉の充実、生涯学習を初めとする教育、文化、スポーツの振興などの施策を総合的、計画的に展開してまいりたいと考えております。

このような基本的認識に立ち、平成3年度予算の目標を「地域活性化の推進」とし、地域経済の振興対策、都市基盤整備を重要課題として、福祉の向上、教育文化の振興等、安房郡市の中心都市として、調和のとれたまちづくりを目指して予算を編成いたしました。

また、このように多様化、高度化する行政需要に対応するため、経済部を分割して「経済部」と「建設部」とする一方、あらゆるスポーツ施策を推進するため、スポーツ課を新設するとともに、市民により分かりやすくするため、現在の課の名称を一部変更するなど行政運営の適正化に努めてまいります。

以下、主要事業につきまして順次御説明申し上げます。

第1は、快適でゆとりある生活環境都市づくりでございます。

快適なまちには、人が出会いと憩いを求めて集まり、生き生きとした豊かな市民生活が実現するとの認識に立ち、都市基盤の整備を重点に取り組んでまいります。

まず、館山駅周辺市街地整備事業についてでございますが、西口地区土地区画整理事業につきましては、本年度は、事業の進展を実感できる段階に入ります。すなわち、宅地の整地や道路側溝等の工事が始まります。また、一部仮換地の指定、建物移転に伴う物件調査や補償、用地取得など事業の推進を図ってまいります。

東口地区の市街地再開発事業等につきましては、引き続き研究会等に対する助成を通じて、調査研究、合意形成に努めてまいります。

また、館山駅東西両地区を結ぶ自由通路につきましても、東日本旅客鉄道株式会社や国鉄清算事業団との協議を行うなど、建設に向けて準備を進めてまいります。

道路交通網の整備につきましては、国道 127号館山バイパスが全線供用開始見込みとなり、市民生活の利便性向上とともに、その経済波及効果についても期待されるところでございます。また、主要地方道館山白浜線バイパスは、用地測量が完了し、平成3年度から用地の取得に入ります。

今後、その早期完成と国道昇格について、東関東自動車道館山線及び高規格 127号富津館山道路の早期完成と併せて、関係機関に強く働き掛けてまいりたいと存じます。

都市計画道路につきましても、川名大賀線の用地測量を行うなど、より高い都市交通機能を実現するため、整備促進に努めてまいりたいと存じます。

さらに、生活に密着した道路及び河川の改良や整備を、地域の実情に即して実施し、利便性、安全性の向上に努めてまいります。

城山公園は、より市民に愛され、利用される都市公園を目指してまいります。県立館山運動公園につきましても、市民の健康づくり、地域振興の拠点として積極的な活用を図ってまいります。

市営住宅につきましては、老朽化しております大賀住宅を計画的に整備するため、移住先としての真倉住宅を建設いたします。

上水道についてでございますが、南房総広域水道企業団が設立され、この用水供給事業に併せ、未給水地域の解消と都市化の進展等に伴う水需要の増大に対処するため、第3次拡張事業の推進に努めてまいります。

公共下水道につきましては、住民との合意形成を図り、事業化に向けて法手続きを進めるとともに、都市下水路につきましても公共下水道雨水計画との整合を図りながら計画的な整備に努めてまいります。

環境対策につきましては、公共用水域の総合的な浄化対策に取り組んでいくところでございますが、本年度は六軒町排水路等に係る排水路浄化施設を設置いたします。また、合併処理浄化槽の補助対象を50人槽までに拡大し、その普及に努めるとともに、引き続き、家庭でできる浄化対策、浄化意識の高揚を図ってまいります。

第2は、温かい心の通う健康福祉都市づくりでございます。

市民一人ひとりが「こころ」も「からだ」も共に健康であることが、市民生活の基本であると考えます。

このため、長寿健康都市宣言の主旨である「自分の健康は自分でつくり、自分で守る」を基本理念として、市民の健康を守るための施策を総合的に推進いたします。

まず、生活習慣に起因する成人病が増加していることから、それらを未然に予防するための健康教育や健康相談を各地域で実施いたします。

また、健康を維持するためには、疾病の早期発見、早期治療ということが大変重要であり、各種検診の実施と併せ、受診者の増大を図るとともに、新たに、大腸がん検診や血液検査による糖尿病検診を実施してまいります。

スポーツ・レクリエーション施策でございますが、教育委員会内にスポーツ課を設置し、様々な年齢層の市民が気軽に参加できる各種教室やイベントの開催、新たなスポーツ需要に対応するための軽スポーツへの取り組み、スポーツ団体や指導者の育成による地域スポーツ活動の促進等、市民の健康と体力づくりを積極的に推進してまいります。

また、引き続き「館山若潮マラソン大会」を開催し、市民の健康意識の高揚、本市のイメージの向上を図ります。

次に、市民福祉でございますが、市民福祉を取り巻く環境は、人口構造の急速な高齢化、市民意識の多様化・高度化が進展しています。

こうした中で、市民の多様化した福祉需要に応えるためには、福祉サービ

スの一層の質的・量的拡充を図る必要があり、社会福祉協議会と連携を図り、ボランティア活動の充実等、地域ぐるみの福祉活動をより一層推進してまいります。

また、館山市高齢者働く会への助成、高齢者体力づくり健康づくり事業への助成、老人クラブ活発化のための施策を実施してまいります。

さらに、家庭奉仕員の派遣、入浴サービス、在宅老人短期入所事業や福祉タクシー利用制度等の施策を実施し、住みよい福祉のまちづくりを推進してまいります。

第3は、地域の個性が生きる人間性豊かな文化教育都市づくりでございます。

まず、学校教育でございますが、各中学校に年次的にパーソナルコンピュータを導入し、新しい時代に対応した教育環境の整備を図ります。また、国際化社会に対応した教育を進めるため、外国人教師招へい事業を継続し、国際理解と国際感覚の育成を図ってまいります。さらに、快適な教育環境を維持するため、引き続き北条小学校の改修を行うほか、各小中学校等の施設を整備してまいります。

次に、社会教育でございますが、文部省による生涯学習モデル市町村の指定を受け、市民の多様な学習需要に対応した施策の展開を図るため、市民と行政が一体となった推進会議を設置し、市民の自主的な学習活動の支援を図ってまいります。

また、社会教育関係団体の活動を助成し、その育成を図るほか、生涯学習の拠点である地区公民館の整備、さらには図書館の利便性を高めるため、図書館業務の電算化等の整備事業を実施いたします。

青少年健全育成でございますが、家庭、学校、地域が連携して青少年の健全育成に努めるとともに、青少年を海外に派遣し、国際的な視野や感覚を持った人材を育成いたします。

次に、豊かな文化の創造でございますが、本年度は「国民文化祭ちば'91」の一環として、世界民族舞踊フェスティバルを開催するとともに、引き続き音楽鑑賞等優れた芸術文化に親しむ機会の提供、文化祭等、市民の文化活動

の発表の場の拡大を図ってまいります。さらに、国際民族音楽フェスティバル等を開催し、新たな地域文化の創造と伝統文化の継承を図ってまいります。

博物館におきましては、収蔵庫の増改築、O A化、資料の収集等、機能の充実を図り、市民の学習要求に対応した企画展、講座等を開催いたします。

また、国際化の進展に対応するため、姉妹都市ベリンハム市との交流を中心とした国際交流事業を推進いたします。

第4は、創造力と活力に満ちた産業都市づくりでございます。

産業の繁栄は、市民生活に活力と潤いをもたらす源でありますので、地域産業の発展と拡大を目指し、産業基盤の整備や経営の近代化の推進と併せ、リゾート計画及びインダストリアルパーク計画を推進してまいります。

農業は、農業経営の根幹となる沼地区及び布沼地区のほ場整備や主要農道等の生産基盤整備、布沼地区の花き産地の整備を図るとともに、イチゴの苗の夜冷库設置や生産技術の向上、経営の合理化を図るとともに、観光農業を推進して、活力ある農村社会を形成してまいります。

水産業は、その基盤となる県営漁港及び市営漁港の整備、養殖施設や漁業関連施設等の整備を初め、漁業協同組合の合併の推進に努め、経営基盤の強化充実を図るべく努めてまいります。

また、漁場生産力を高めるため、種苗放流や魚礁設置による「つくり育てる漁業」を推進するとともに、観光漁業を推進し、漁家経営を安定させてまいりたいと存じます。

商工業につきましては、商工会議所等の関係団体に対して助成し、活動の強化充実を促進するとともに、商工業者の経営の合理化、近代化を図るための融資や利子補給を行い、魅力ある商店街の形成に努めてまいります。

一方、雇用の場を確保するため、本市の豊かな自然を生かしながら、製造業誘致の基盤となるインダストリアルパーク計画の実現に努めてまいります。

海洋性リゾートタウン計画では、自然環境や生活環境との調和に配慮しながら、地域経済への波及効果を創出するため房総リゾート地域整備構想に基づく諸計画やウエルネスリゾートパーク計画を推進し、質の高いリゾート地

の形成に努めてまいります。

観光についてでございますが、本年度は、県の継続事業であります南房総
国立公園館山集団施設地区整備事業のほか、北条海岸の整備基本設計を策定
し、地域リーダー育成事業による公衆用トイレの整備や監視所、休憩所等の
受入施設の整備を推進してまいります。

また、海岸の美化を促進するとともに、フラワーライン沿道等の整備や花
き植栽を積極的に進め、地域イメージの高揚を図ってまいります。

さらに、関係団体と協力して、四季を通してのイベントをより一層充実す
るとともに、「南房総たてやま」の広域的なPRを展開してまいります。

第5は、自立と連帯で築くコミュニティ都市づくりでございます。

これからのまちづくりは、市民相互の連帯と協力が不可欠であり、英知と
意欲を結集して実践することが必要であると考えております。

コミュニティ活動の拠点となる地区集会施設整備等の補助、活動の援助、
地域リーダーの養成に努め、市民自治の確立を目指したコミュニティ活動を
推進してまいります。

また、「クリーン・アンド・ビューティフル運動」を館山市コミュニティ
連絡協議会や館山市町内会連合協議会などの関係団体及び関係機関と共同し
て、より一層地域に根ざした運動となるよう積極的に推進してまいります。

広報活動につきましては、「広報たてやま」の充実を図るとともに、本年
度から市民に分かりやすく親しみやすい「グラフ誌」を発行してまいります。

以上申し上げました諸施策を遂行するための財源につきましては、社会経
済情勢や国・県の予算編成の動向、地方財政計画、本市の現状及び過去の収
入実績などを十分配慮し計上いたしました。その結果、平成3年度館山市一
般会計歳入歳出予算の総額は、128億 8,800万円となり、前年度予算に対し、
13億 5,300万円、11.7%の増となっております。

次に、債務負担行為といたしまして、ウエルネスリゾートパーク用地取得
事業、都市マスタープラン策定委託料及び館山市農業協同組合が農道整備資
金といたしまして、農林漁業金融公庫から融資を受けた借入金の償還に対す
る補助等4件につきまして設定いたしました。地方債といたしまして、上水

道事業、道路整備事業など8件を予定し、一時借入金につきましては、最高額を10億円といたしました。

以上が議案第1号の概要でございますが、次に、議案第2号から順次その概要を申し上げます。

まず、議案第2号平成3年度館山市国民健康保険特別会計予算でございますが、歳出につきまして、医療費及び老人保健拠出金の過去の実績等を考慮いたしますとともに、歳入につきまして、一般会計及び保険基盤安定制度による繰入措置を講じ、その結果、歳入歳出それぞれ31億7,088万余円を計上いたしました。

次に、議案第3号平成3年度館山市老人保健特別会計予算でございますが、老人医療費の過去の実績等を勘案し、一般会計からの繰入金1億6,176万余円を含めまして、歳入歳出それぞれ32億8,260万円を計上いたしました。

次に、議案第4号平成3年度館山市ユースホステル特別会計予算でございますが、運営経費といたしまして、歳入歳出それぞれ2,659万余円を計上いたしました。

次に、議案第5号平成3年度館山市学童災害共済事業特別会計予算でございますが、歳入歳出それぞれ214万余円を計上いたしました。

次に、議案第6号平成3年度館山市水道事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、水道料、受託工事収益等7億4,654万余円、収益的支出といたしまして、営業費用、企業債利息等で7億4,310万余円、また、資本的収入といたしまして、一般会計からの出資金及び加入者分担金等で7,812万余円、資本的支出といたしまして、水道施設工事費等建設改良費及び企業債償還金等で2億3,871万余円を計上いたしました。

次に、議案第7号平成3年度館山市国民宿舎事業特別会計予算でございますが、収益的収入といたしまして、宿泊料、食事料等で2億429万余円、収益的支出といたしまして、宿舎経営費等営業費用及び支払利息等で1億9,354万余円、資本的支出といたしまして、企業債償還金等で1,767万余円を計上いたしました。

以上各会計の平成3年度予算の概要につきまして御説明申し上げましたが、

一般会計及び特別会計予算総額は、205億6,327万余円でございます。

次に、議案第8号平成2年度館山市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認についてでございますが、平成3年1月20日に執行されました故半澤良一前市長の市葬関連経費及び平成3年4月7日に予定されます県議会議員選挙の執行経費につきまして、地方自治法第179条第1項の規定により平成3年1月7日に専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

次に、議案第9号館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、多様化、高度化する行政需要に対応するため、経済部を分割し、経済部と建設部に組織を変更しようとするものでございます。

次に、議案第10号非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去の改定経緯等を考慮いたしまして、市議会議員に関する報酬額につきましては、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、この答申を尊重し、本年4月1日から報酬額を改定しようとするものでございます。また、各種行政委員会の委員及びその他の特別職の報酬額につきましても、本年4月1日から改定しようとするものでございます。なお、費用弁償につきましても、国・県の改定、県内各市との均衡を考慮し、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第11号館山市長、助役、収入役の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、昨年4月に改定いたしました現行の給料額につきまして、一般職の給与改定、県内各市との均衡、過去における給料額改定の経緯等を考慮いたしまして、館山市特別職報酬等審議会に諮問いたしましたところ、改定の額及び時期とも適当である旨の答申を得ましたので、本年4月1日から改定しようとするものでございます。また、旅費につきましても、国・県の改定、県内各市との均衡を考慮し、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第12号館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一

部を改正する条例の制定についてでございますが、教育長の給料につきましても、今回、収入役の給料と同額にしようとするものでございます。

次に、議案第13号館山市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、館山市職員等の旅費につきまして、国・県の改定、県内各市との均衡を考慮し、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第14号財産の無償譲渡についてでございますが、本議案は、議案第16号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてと関連がございますが、設置後20年を経過した5青年館を地元に無償譲渡しようとするため、地方自治法第237条第2項の規定により、議会の議決を求めようとするものでございます。

次に、議案第15号館山市教育兼務職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、各種行政委員会の委員の報酬額の改定に伴う報酬額の改定及び幼稚園の教頭及び公民館の書記に専任職員を配置したことによる改正をしようとするものでございます。

次に、議案第16号館山市青年館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、設置後20年を経過した5青年館につきまして、これを廃止し、多面的な利用を図るため、地域のコミュニティ集会施設として地元に払下げしようとするものでございます。

次に、議案第17号館山市消防団条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、団員の報酬額につきまして、県内各市及び近隣町村との均衡等を考慮いたしまして、本年4月1日から改定しようとするものでございます。

次に、議案第18号館山市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、公営住宅法施行令の一部改正に伴い、入居者の収入基準について改正しようとするものでございます。

次に、議案第19号市道路線の認定、廃止及び変更についてでございますが、市道1223号線外7路線を認定し、市道1030号線を廃止し、市道1154号線外3路線を変更しようとするものでございます。

次に、議案第20号平成2年度館山市一般会計補正予算（第5号）でございますが、歳入歳出それぞれ9億1,859万3,000円を追加し、総額129億5,792万1,000円としようとするものでございます。

歳出予算の追加の主なものといたしましては、総務費では、館山市減債基金で運用利子の増によりまして、積立金で1,503万2,000円、民生費では、館山市福祉基金で寄付金の積立て及び運用利子の増によりまして、積立金で431万5,000円、老人ホーム入所措置扶助費で、措置費単価の改定によりまして317万2,000円、老人保健特別会計繰出金で3,647万8,000円、これは、老人医療費に伴う支払基金交付金及び国・県負担金の交付が一部翌年度精算となることに伴い、一般会計で一時補てんするものでございます。また、予備保母設置費補助金で、県の要綱改正及び保母数の増によりまして338万4,000円、児童福祉法第51条による措置委託料で、保育単価の改定及び措置児童数の増によりまして802万7,000円、土木費では、地域排水整備事業負担金で県の事業費の変更によりまして493万4,000円、教育費では、ブロンズ像の造形作品購入費で1,315万2,000円、諸支出金では、土地開発基金で繰出し及び運用利子の増によりまして、繰出金で2億3,712万2,000円、財政調整基金で積立て及び運用利子の増によりまして、積立金で7億4,613万1,000円、普通財産購入費で5,712万4,000円、これは、土地開発基金におきまして先行取得した用地を購入するものでございます。また、庁舎建設基金で運用利子の増によりまして、積立金で1,647万1,000円。

次に、歳出予算の減額の主なものといたしましては、総務費では、税収入還付金及び還付加算金で、予測された還付請求権の消滅によりまして550万円、民生費では、生活扶助費で受給者の減によりまして1,026万1,000円、衛生費では、衛生センターの汚泥焼却用燃料費で、使用料の減によりまして600万円、電気使用料で700万円、三芳水道企業団負担金で301万1,000円、これは、給水原価が県の補助基準に達しない見込みによるもの等でございます。また、南房総広域水道企業団負担金で、事業費の減によりまして376万5,000円、農林水産業費では、布沼地区団体営土地改良総合整備事業で国庫補助率のアップに伴う市補助率の減によりまして、補助金で410万円、東京

湾漁業振興対策事業で総事業費の減によりまして、補助金で 409万 9,000円、富崎漁港県単維持工事で事業費の減によりまして、負担金で 589万 1,000円、土木費では、県道改良等工事で事業内容の変更に伴いまして、負担金で 390万 8,000円、館山駅東口地区市街地再開発等基本計画作成委託料で 367万 5,000円、これは、未執行によるものでございます。また、地権者との交渉が不調であったことによりまして、市街地整備用地購入費で 7,640万 5,000円、さらに、地上物件等補償費で 4,878万 8,000円、教育費では、館山若潮マラソン大会委託料で、参加者の減等によりまして 400万円、災害復旧費では、道路、河川災害復旧工事請負費で、災害査定の結果、事業量の減によりまして 1,900万円。

また、各款における人件費の補正でございますが、これは、職員手当の増減によるものでございます。

以上、歳出の主な内容につきまして御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、市税、地方交付税、財産収入等により充当しようとするものでございます。

このほかに、布沼地区団体営土地改良総合整備事業補助金、ビーチクリーナー車庫建設工事及び土木施設災害復旧工事につきまして、一部年度内の完了が困難となりましたので繰越明許費の設定、財団法人館山市環境保全公社に対する損失補償の限度額の変更につきまして債務負担行為の補正、また、道路整備事業をはじめ、8事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

次に、議案第21号平成2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）でございますが、財政調整基金運用利子の増に伴いまして、積立金で 138万 8,000円の追加をお願いするものでございます。

次に、議案第22号平成2年度館山市老人保健特別会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出それぞれ 4,143万 6,000円を追加し、総額30億 5,214万 9,000円としようとするものでございます。主な歳出といたしましては、1件当たりの平均単価の増によりまして、医療給付費で 3,849万 4,000円、医療費支給費で 341万 3,000円それぞれ増となりますので、これらの補

正財源といたしまして、議案第20号で申し上げました一般会計からの繰入金等をもって充てようとするものでございます。

以上、私の所信と諸議案を御説明いたしました但、平成3年度は第2期目の館山市基本計画のスタートの年に当たる重要な年でございませう。

半島性から脱却すべく国・県のビッグプロジェクトも着々と整備が進みつつある状況を踏まえ、各種施策について優先順位の厳しい選択や財源の重点的な配分を行い、効率的な行財政運営に努め、新5カ年計画のサブタイトルを「新たな飛躍と調和をめざして」と定めて、「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、全力を傾注してまいる所存でございませう。

議員各位並びに市民の皆様方の一層の御理解と御協力を切にお願い申し上げる次第でございませう。

なお、詳細につきましては、御質問に応じ、私又は事務担当者からお答えいたしたいと存じますので、よろしく御審議下さるようお願い申し上げます。

◎議長（渡辺昭夫君） 以上で市長の施政方針並びに提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時48分

◎議長（渡辺昭夫君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（渡辺昭夫君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会することに決しました。

なお、明2日から6日まで議案調査のため休会、次会は3月7日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

この際、申し上げます。行政一般質問の通告締め切りは3月4日正午、一般議案及び補正予算に対する質疑通告の締め切りは3月7日正午でありますので、申し添えます。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第1号乃至議案第22号